

健康長寿と人参養栄湯

エビデンスに基づくフレイル対策

福岡
会場

2019年8月24日(土) 14:00~17:30
ホテル日航福岡 本館3F「都久志の間」

東京
会場

2019年9月 7日(土) 14:00~17:30
東京マリオットホテル B1F「ボールルームノース」

第3回フレイル漢方薬理研究会学術集会(共催 フレイル漢方薬理研究会/クラシエ薬品株式会社)が本年は福岡と東京で開催された。

今回は、「エビデンスに基づくフレイル対策」をテーマに、基調講演(基礎3演題、臨床2演題)および特別講演2演題が講演された。両会場ともに週末の午後の開催であったが、参加者は併せて800人を超える盛況であり、各講演に対し活発な討論が繰り広げられた。

とくに今回は、オーストラリアからGarvan Institute of Medical Research のHerbert Herzog教授が招かれ、人参養栄湯のNPYシステムを介した作用に関する研究の成果が紹介された。フレイルはわが国だけでなく世界的にも大きな問題となっているだけに、海外でも人参養栄湯のフレイルに及ぼす影響が検討されていることに多くの関心が寄せられ、予定時間を超過するほどの活発な質疑応答が行われた。

臨床のエビデンスについては、基調講演4で脳卒中高齢者の転倒に及ぼす人参養栄湯の影響についてretrospectiveに検討された結果が報告され、人参養栄湯がフレイルを改善することで転倒リスクを軽減する可能性が示唆された。本研究の詳細については、本誌p.16~19にて紹介する。

基調講演5では、COPD患者のフレイルに対する人参養栄湯の効果を検討された結果が報告され、その有用性が示唆された。本研究の内容は、近く本誌にてインタビューによる解説記事を掲載する予定である。

第4回フレイル漢方薬理研究会学術集会は、2020年に東京と神戸の2会場で開催される予定である。高齢化の進展に伴い、フレイルが医療現場だけでなく社会的にも大きな問題となっている。本研究では、人参養栄湯のフレイルに対する基礎的な検討、臨床的な有用性の検討が進んでおり、今後報告される研究成果から目が離せない。

PROGRAM

開会挨拶

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 乾 明夫 先生

基調講演

フレイルに対する人參養栄湯の作用機序と臨床応用

① (福岡会場)

人參養栄湯による 免疫亢進の機序としての MDSC分化抑制

東京理科大学 薬学部 応用薬理学研究室
磯濱 洋一郎 先生



① (東京会場)

クロトーマウスの 老化表現型に対する 人參養栄湯の影響

クラシエ製薬株式会社 漢方研究所
高橋 隆二 先生



②

人參養栄湯による食欲 中枢活性化と摂食・体重 低下の改善

関西電力医学研究所
統合生理学センター
矢田 俊彦 先生



③

がんに見られる痩せに 対する人參養栄湯の影響

名古屋市立大学大学院薬学研究科
神経薬理学分野
大澤 匡弘 先生



④

高齢者の転倒に及ぼす 人參養栄湯の影響

医療法人社団 健育会 湘南慶友病院
寺山 靖夫 先生



⑤

COPD患者のフレイルに 対する人參養栄湯の 臨床応用と考察

昭和大学医学部内科学講座
呼吸器・アレルギー内科学部門
相良 博典 先生



特別講演

I

Healthy Aging-Ninjin'yoeito and its interaction with NPY system

Garvan Institute of Medical Research
prof. Herbert Herzog



II

がん緩和医療と 人參養栄湯

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
漢方薬理学講座
乾 明夫 先生



閉会挨拶

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 乾 明夫 先生